

安全データシート

1. 製品及び会社情報
製品名 : 無塩凍結防止(融雪)剤
会社名 : 株式会社MonotaRO
住所 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 : 商品お問合せ窓口
電話番号 : 0120-443-509
FAX番号 : 0120-289-888
緊急連絡先 : 所在地と同じ
整理番号 : M240520
2. 危険有害性の要約
GHS分類
物理化学的危険性
可燃性固体 : 区分に該当しない
自然発火性固体 : 区分に該当しない
健康に対する有害性
急性毒性(経口) : 区分に該当しない
急性毒性(経皮) : 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期(急性) : 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分に該当しない
注意喚起語 : なし
注意書き : なし
3. 組成、成分情報
単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名又は一般名 : 尿素 (Urea)
成分及び含有量 : 尿素 98.6% 以上
化学式又は構造式 : $(\text{NH}_2)_2\text{CO}$
官報公示整理番号 : 化審法 2-1732
CAS No. : 57-13-6
4. 応急措置
吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、安静にする。
皮膚に付着した場合 : 水で十分に洗い流す。
眼に入った場合 : 少なくとも15分間は、多量の清浄な流水で洗眼する。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。無理に吐かせないこと。
状況に応じて医師の診察を受ける。
5. 火災時の措置
適切な消火剤 : 水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素、泡薬剤。
使ってはならない消火剤 : データなし
火災時の特有の危険有害性 : 熱分解により窒素酸化物等の有害なガスが発生することがある。
特有の消火方法 : 周辺火災の場合は容器を安全な場所に移動する。
消火活動を行う者の特別な : 消火作業の際は保護具を着用する。
保護具及び予防措置
6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、 : 漏出した場所はロープ等で関係者以外の立ち入りを禁止する。
保護具及び緊急時措置 : 作業者は適切な保護具を着用し、皮膚への付着やガスの吸入を避ける。作業は風上から行い、風下の者は退避させる。屋内の場合、処理完了まで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項	： 再飛散の恐れのある場合はシート等で覆うなど考慮する。 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。
封じ 込め及び浄化の方法 及び機材	： 飛散したものは回収し、密閉容器に保管する。
回収、中和	： データなし
二次災害の防止策	： 汚染された場所をよく洗浄する。
7 取扱及び保管上の注意 技術的対策	： 強酸化剤との接触を避ける。
注意事項	： 尿素の状態では保護具を着用し取り扱えば危険性はないが 分解又は加熱するとアンモニアガスを発生し危険となるので 注意を要する。みだりに粉塵を発生させない。
安全取り扱い注意事項	： 保護具を着用し、皮膚、眼への接触を避ける。
保管	： 直射日光の当たらない涼しい場所にて密閉して保管する。 部分的に分解発生したアンモニアガスが滞留しないために風 通しを良くする。
安全な容器包装材料	： 製品容器に準ずる。
8 暴露防止及び保護措置	
管理濃度	： 設定されていない。
許容濃度	： 設定されていない。
設備対策	： 屋内作業場の場合は換気に留意する。発生源の密閉化または 局所排気装置の設置が望ましい。
保護具	： 呼吸用保護具；防塵マスク 手の保護具；ゴム手袋 眼の保護具；ゴーグルまたは側板付き保護眼鏡 皮膚及び身体の保護具；長靴、長袖作業衣
9 物理的及び化学的性質	
外観	： 無白色、無臭の細粒状。
臭い	： 無臭～微アンモニア臭
融点/凝固点	： 132.7℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	： データなし
可燃性	： データなし
蒸発速度	： データなし
燃焼性(固体、ガス)	： データなし
爆発／可燃限界	： データなし
引火点	： データなし
自然発火点	： データなし
分解温度	： データなし
粘度	： データなし
動粘性率	： データなし
溶解性	： 1080g/L-H ₂ O (20℃)
n-オクタノール/水分配係数	： -3.00～-1.54
蒸気圧	： データなし
比重	： 1.335
10. 安定性及び反応性	
化学的安定性	： 通常条件で安定。
化学的反応性	： 強酸化剤と接触すると反応することがある。
危険有害反応可能性	： 通常条件ではなし。
避けるべき条件	： 高温、高湿度、直射日光
混触危険物質	： 強酸化剤
危険有害な分解生成物	： 加水分解するとアンモニアガスを発生。加熱すると160℃付近 でアンモニアを発生し、シアン酸アンモニウムに変化する。

11. 有害性情報
- 急性毒性(経口) : ラット LD50 14300mg/kg マウス LD50 13000mg/kg
 - 急性毒性(経皮) : ラット LD50 8200mg/kg
 - 急性毒性(蒸気) : データなし
 - 急性毒性(粉塵・ミスト) : データなし
 - 皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しないが、粉塵の接触により物理的な刺激や乾燥が起こる可能性がある。
 - 眼に対する重篤な損傷性 : 区分に該当しないが、粉塵が眼に入ると物理的な刺激が起こる可能性がある。
 - 又は眼刺激性 : データなし
 - 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
 - 生殖細胞変異原性 : データなし
 - 発がん性 : データなし
 - 生殖毒性 : データなし
 - 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし
 - 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし
 - 誤えん有害性 : データなし
12. 環境影響情報
- 水生環境有害性 短期(急性) : ウグイ 危険濃度 16000～30000ppm以上。
 - 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分に該当しない
 - 分解性・残留性 : 分解性良好。
 - 生体蓄積性 : データなし
 - 土壤中の移動性 : データなし
 - オゾン層への有害性 : データなし
13. 廃棄上の注意
- 残余廃棄物 : 肥料としてそのまま、或いは大量の水で希釈し農産物に有効適量撒く。活性汚泥に対する毒性テストを行い、問題ないことを確認の上、活性汚泥菌の栄養源とする。都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
 - 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去する。容器は清浄にして、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処理を行う。
14. 輸送上の注意
- 国内規制 : 陸上、海上、航空輸送において適用法令なし。
 - 国連分類 : 分類基準に該当しない。
 - 輸送上の注意 : 取扱及び保管上の注意に記載された内容に注意して輸送。包装容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷等のないように積み込み、漏洩及び荷崩れの防止を確実に行う。輸送時には雨に濡れないようにする。
15. 適用法令
- 労働安全衛生法 : 該当なし。
 - 化学物質排出把握管理促進法 : 該当なし。
 - 毒物及び劇物取締法 : 該当なし。
16. その他の情報
- 引用文献 : 化学大辞典
化学便覧基礎編
通産省公報

以上